

第3学年2, 3組女子 保健体育科学習指導案

指導者
担当教員

1. 日時 平成30年5月24日(木) 第5校時 13:30~14:20
2. 場所 運動場
3. 学年・組 3年2, 3組女子 合計41人
4. 単元名 球技「ソフトボール」

5. 指導にあたって

(1)単元について

ソフトボールは、ボールをバットやグローブで操作しながら、一定の回数内で相手チームより多くの得点を取り合うことに楽しみや喜びを感じることができ、身体やバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備から成るスポーツである。自己の役割を自覚してその役割の責任を果たし、助け合い励まし合うことで、社会生活に必要な態度を養うことができる。

(2)生徒の実態

生徒の実態を把握するため、アンケート調査を実施した。アンケート調査より、半数の生徒が野球またはソフトボールについてのルールをあまり理解していないことがわかる。一方でスポーツが好きな生徒は68%であり、授業でも与えられた課題に対して意欲的に取り組む姿勢が見られる。仲間への声掛けが少ないと感じられるため、ポイントを声掛けする機会やゲームを取り入れることで協調性が高まることを期待する。

Q1 スポーツは好きですか？	はい68%(水泳, バドミントン他)	いいえ32%		
Q2 部活動をしていますか？	はい90%(文化部55%, 運動部35%)	いいえ10%		
Q3 ソフトボールまたは野球を観たことはありますか？	ある93%	ない7%		
Q4 ソフトボールまたは野球のルールがわかりますか？	わかる13%	少しわかる37%	あまりわからない30%	全くわからない20%

(平成30年5月9日(水)実施, 3年2, 3組40人対象)

(3)指導について

ソフトボールの魅力はいかに遠くに打つことができるか、仲間と協力してアウトを獲ることができるかである。しかし、女子の行うソフトボールでは、捕球ミスによりアウトが取れず、本当の意味でのソフトボールの魅力を感じることができない可能性がある。そのため、授業の前半はゴロやフライを含んだキャッチボールなど守備練習に重点を置いて技術を身に付けさせ、後半にバッティングや実践練習を行い、ゲームでの攻守の楽しさを感じさせる授業を展開する。また、グループでアドバイスをし合うことができる時間を設け、仲間とコミュニケーションをとらせながら技能を高めさせる。必ず毎時間ゲームを取り入れ、一人一人が意欲的に取り組めるような授業を行う。

6. 指導計画(全6時間)

時間	1	2	3	4	⑤	6
0分	○導入(挨拶, 出欠確認, 健康観察, 本時の目標確認, 準備運動)					
	○オリエンテーション ・学習の流れ	○基礎的・基本的な技能の習得 ・キャッチボール(ゴロ, フライ含む)				○公式ルールに近いゲーム ・スローピッチゲーム
	○基本練習(ボールに慣れる) ・キャッチボール ・キャッチボールゲーム	○応用練習(確実にボールにバットを当てる) ・素振り ・ティーバッティング		○応用練習(動くボールにバットを当てる) ・トスバッティング		
				○ミニゲーム ・1塁ゲーム		
50分	○まとめ(整理運動, 健康観察, ふりかえり, 本時のまとめ)					

7. 単元目標

(1)運動の技能

基本的なバット操作と走塁での攻撃, ボール操作と定位置での守備などによって攻防すること。

(2)運動への態度

ソフトボールに積極的に取り組むとともに, フェアなプレーを守ろうとすること, 作戦などについて話し合いに参加しようとする, 一人一人の違いに応じたプレーなどを認めようとする, 仲間の学習を援助しようとするなどや, 健康・安全に気を配ること。

(3)運動の知識・思考・判断

攻撃などの自己の課題を発見し, 合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに, 自己や仲間の考えたことを他者に伝える。

8. 本時の目標

○動くボールにバットを当てることができ, 守備の際には1塁に的確に送球できる。【技能】

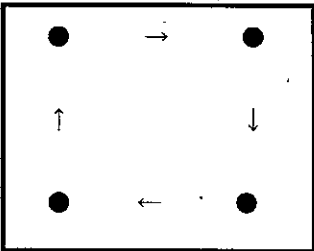
○仲間のプレーに対して積極的にアドバイスし, 協力しようとする。【関心・意欲・態度】

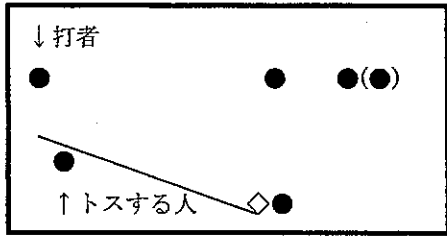
○課題に応じたポイントを理解し, 仲間に対して指摘することができる。【知識・思考・判断】

9. 準備物

・バット 10本 ・グローブ 41個 ・ボール 30個 ・大コーン 3個 ・ペットボトル 3個 ・ベース 8枚 ・ホワイトボード ・ペン

10. 本時の展開(5/6 時間目)

	学習活動	指導及び指導上の留意点・評価
導 入 10 分	<p>○集合, 整列</p> <p>○挨拶</p> <p>○準備運動</p> <p>○本時の内容確認</p>	<p>各クラス 4列ずつ整列させる。 出欠, 健康状態を確認する。</p> <p>体育リーダーの号令で挨拶をさせる。</p> <p>体育リーダーを中心に実施させる。</p> <p>主題とねらいを確認させる。</p>
展	<p>身体の向きを変えて送球</p>	
	<p>○四角形(三角形)でキャッチボール。</p> 	<p>各クラス横列の 4人組で行わせる。</p> <p>送球されたボールの高さによって, グローブの向きを変えさせる。</p> <p>声を掛け合いながら行うように促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを要求する声掛け ・相手を注目させるような声掛け <p>捕球ミスした場合, 様々な方向にボールが飛ぶため, 各グループ離れて行わせる。</p>
開 35 分	<p>1塁ゲームをしよう</p>	
	<p>○1塁ゲーム (ルール)</p> <p>5~6人でチームを組み, 順番に役割を替わっていく。一人 3球分振り, 打てたら 1塁ベースまで走る。守備者はボールをとったら, 1塁へ送球する。チーム全員でアウトかセーフを判断する。</p>	<p>各クラス 4列縦隊に並ばせ, 縦列の 5人組で行わせる。</p> <p>図を使用し説明した後, 数人に協力してもらい見本を見せる。後に行うチーム対抗ゲームの説明も行う。</p> <p>左足の前でミートすることを意識させる。</p> <p>トスされたボールに当てるのが難しい生徒には, テ</p>



※トスをする人は打者から横に3歩、守備者の方に1歩離れてトスを行う。

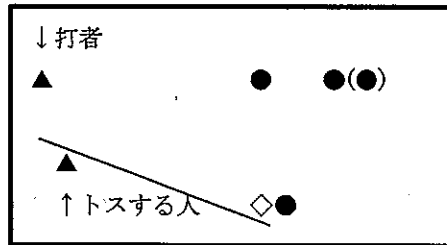
○チーム対抗「1塁ゲーム」
(ルール)

5~6人で1チーム。トスをする人と打者をAチーム、守備者は全員Bチームとする。

打者は判定関係なく、3人で交代。一人3回まで振ることができ、打てた場合は1塁ベースまで走る。

守備者は全員で守備を行う。ボールをとったら、1塁へ送球する。

2チーム全員でアウトかセーフを判断する。



ま
と
め
5
分

○整列

○本時のまとめを行う。

○挨拶をする。

イーバッティングに段階を戻させる。

アウトやセーフの判断をチーム全員にさせ、ソフトボールの本来の楽しさを感じてもらおう。

チーム内での声掛けやアドバイスを促す。

- ・投げる高さ
- ・ミートする位置
- ・バットを振るタイミングや高さ
- ・判定(アウト, セーフ)

チーム対抗ゲームができるよう生徒を移動させる。

待っている生徒がバットやボールに当たらない位置にいるか十分に確認する。

打者から横に3歩、守備者の方に1歩離れてトスを行わせる。

声掛けや応援をするように促す。

時間を区切り、別のチームとも対戦させる。

各クラス4列縦隊に整列させる。

本時のポイントを再確認する。
健康観察を行う。

体育リーダーの号令で挨拶をさせる。